

# CI-NET導入事例

- 社内システムとクラウドサービスを連携させた、  
注文から出来高・請求・支払いまでの電子商取引事例 -

三井デザインテック株式会社

# 目次

1. 会社概要
2. 電子商取引導入の目的
3. 電子商取引システム選定
4. 電子商取引の適用業務(注文業務)
5. 電子商取引の適用業務(支払業務)
6. 実施状況・効果
7. CI-NET導入にあたり苦勞した点(工夫した点)
8. 実施体制
9. スケジュール
10. 今後について

# 1. 会社概要

- ◆ 商号 : 三井デザインテック株式会社
- ◆ 所在 : 東京都港区芝三丁目2番18号 NBF芝公園ビル
- ◆ 設立 : 昭和55年4月1日（現社名への商号変更：平成元年4月1日）
- ◆ 資本金 : 5億円
- ◆ 売上高 : 309億円（平成27年度実績）
- ◆ 従業員数 : 381名（平成28年4月1日現在）
- ◆ 事業拠点 :

北海道・東北地区	北海道 宮城県	札幌市東区 仙台市若林区
関東地区	東京都 神奈川県	港区芝（本社） 他6拠点 横浜市西区
中部地区	愛知県	名古屋市西区
近畿地区	大阪府	大阪市中央区（関西支店） ショールーム
中国地区	広島県	広島市中区
九州地区	福岡県	福岡市博多区
- ◆ 主要取引先 : 三井不動産グループ各社  
ゼネコン・デベロッパー・ホテル・個人 他

## 2. 電子商取引導入の目的

### コンプライアンスの実現

- 工事着工前の契約(発注書の発行～請書の回収)
- 工事完了後50日以内支払(末日締め翌月20日支払)

### ➤ 電子商取引導入前のメリット確認

- 発注書・受注書の郵送リードタイム省略
- 受注書回収管理の省略(出来高支払まで連動させた場合)
- 請求書の郵送リードタイムの省略
- 出来高・請求データの社内システムへ登録業務の効率化
- 契約書、請求書ペーパーレスによる文書保存業務及び保管スペースの削減
- 郵送料の削減(システムランニングコストと相殺)
- 印紙税額の削減(業者サイド、システムランニングコストと相殺、)

### 3. 電子商取引システム選定

#### ◆ A案-社内システムへ電子商取引プログラム構築

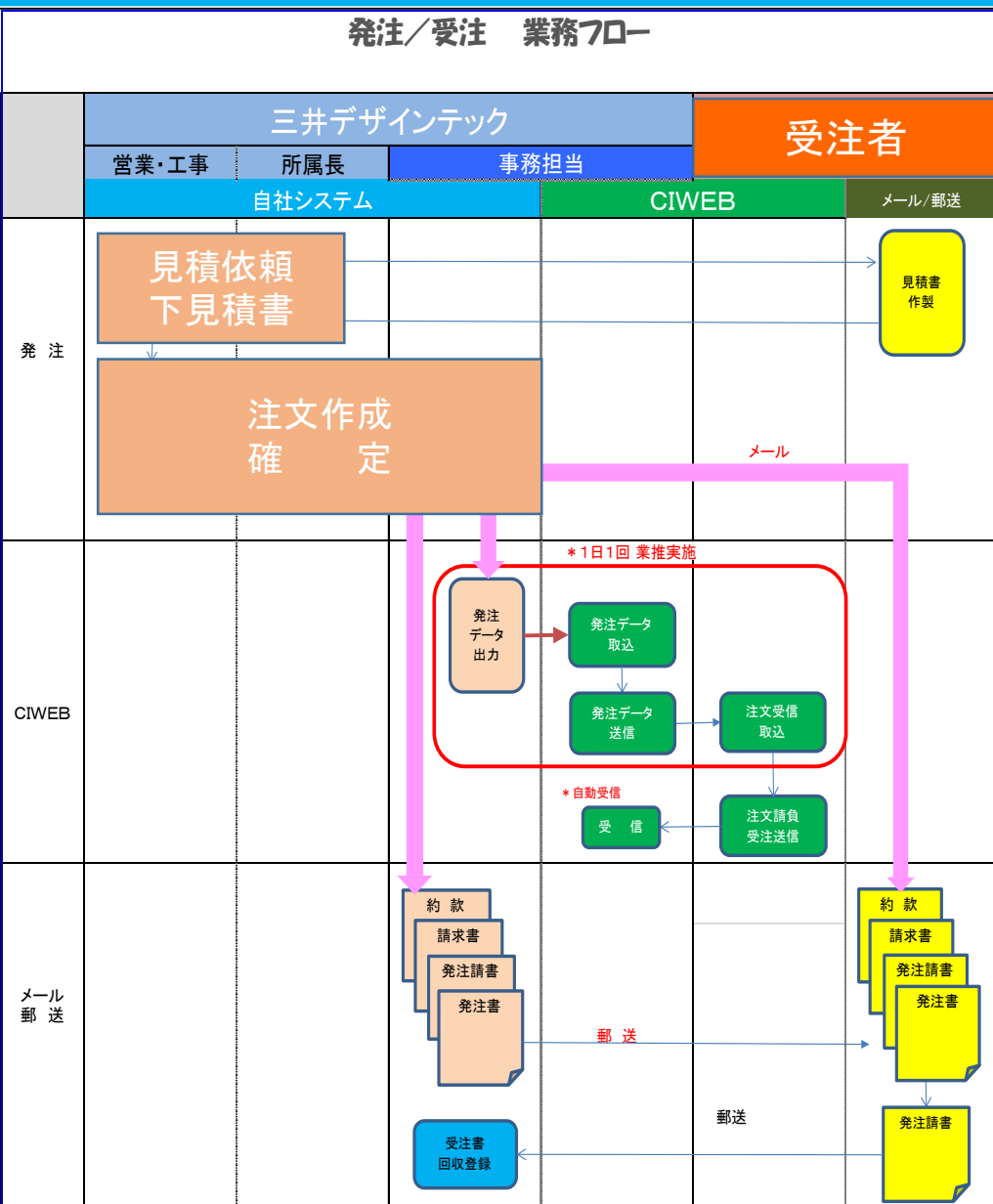
- 事業に合わせ業務効率化を図るシステム構築が可能
- システム構築に多額な費用と開発に時間がかかる
- 建設業法改定等の対応に不安（システム改良コストや体制）

#### ◆ B案-建設業界標準CI-NET クラウドサービス (CIWEB)

- プログラム構築コストがかからない
- 短期間で運用開始できる
- 建設業法改定等への対応が不要（建設業界標準）
- クラウドサービスとの連携は疎結合対応
- 既に参加済の取引先が多く展開しやすい
- 操作講習、運用サポート体制が確立されている

**\* 社内システムを業務処理の基軸として  
CI-NET クラウドサービス(CIWEB)を選定**

# 4. 電子商取引の適用業務（注文業務）



営業担当、工事担当、注文権限者の業務は従来と変更なし

- 見積業務は紙ベースで対応  
確定注文以降をC I W E B対応
- 紙ベースとC I W E Bを同一処理
- C I W E B対応分はCSV形式で抽出後、CIWEBへ取込み、一括送信  
 <本社でまとめて1日1回処理>
- 注文請書は、CIWEBで管理

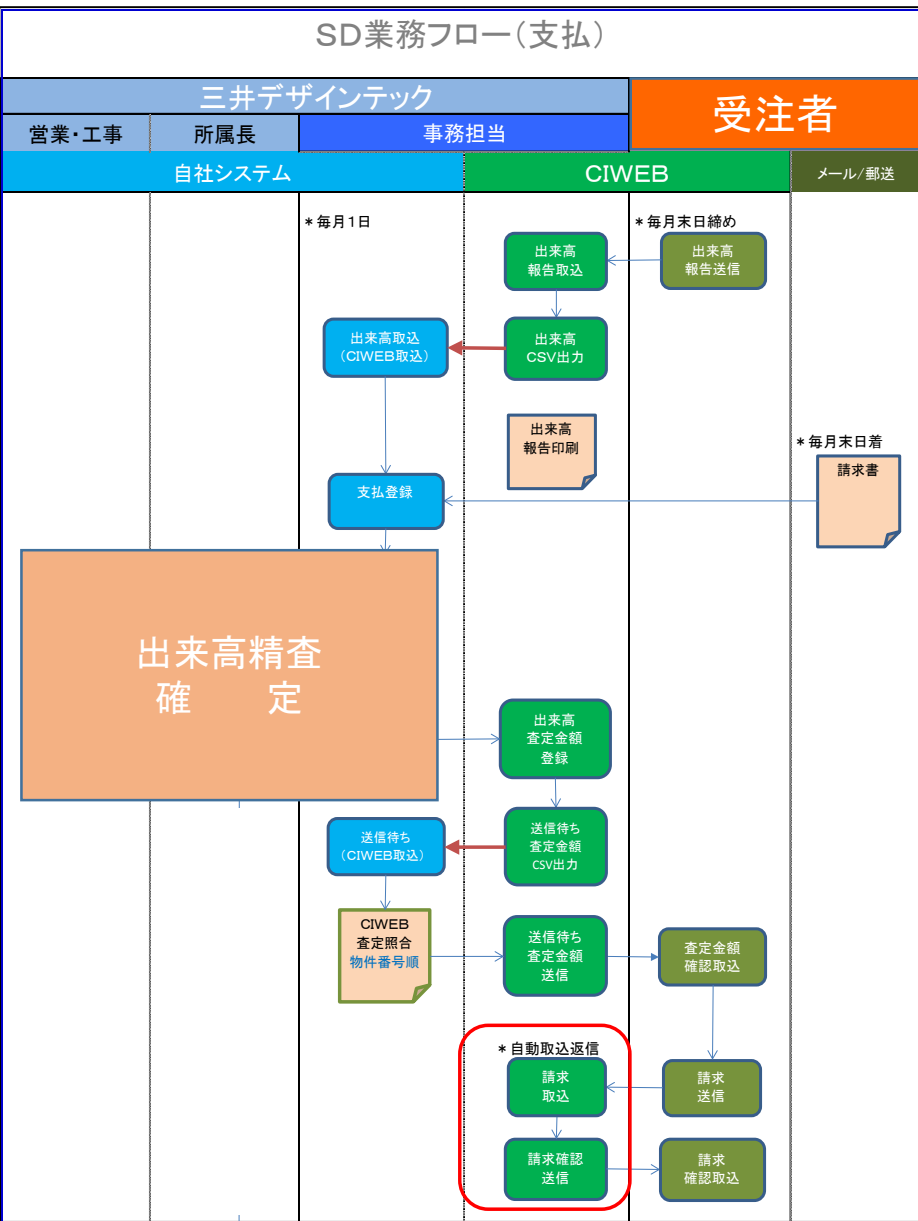


郵送時間、手間の削減

取引先への到達の確実性

注文書、注文請書の管理の効率化

# 5. 電子商取引の適用業務（支払業務）



営業担当、工事担当、支払権限者の業務は従来と変更なし

- 出来高報告をCIWEBからCSV形式で、社内システムへ取込み
- 請求書を社内システムへ登録
- 出来高の確認・承認
  - CIWEBへの登録
  - CIWEB登録内容の再確認
  - 出来高確認（承認）の送信

事務担当者



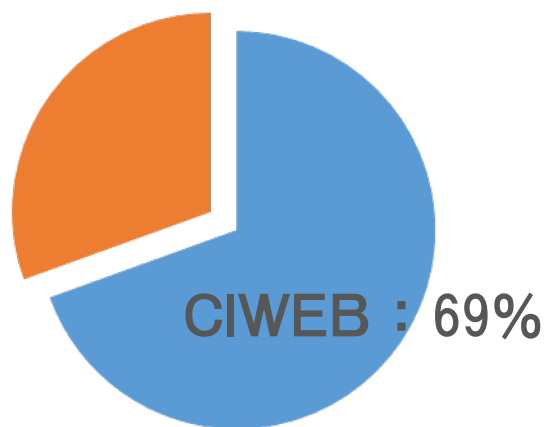
- CIWEBは月末まで提出可能 <月末締め翌月20日払いを実現>
  - CIWEBへのシステム登録作業が増加
- 注) CIWEBの請求業務は自動返信対応。

## 6. 実施状況・効果

### ◆ 電子商取引(CIWEB)実施状況

2015年度実績 CIWEB取引企業 : 76社

注文金額



注文件数



注文件数 : 14,008件/年  
うち CIWEB : 7,950件/年  
( 663件/1ヶ月)

### ◆ 効果

- コンプライアンスの実現
- 契約業務と出来高、請求・支払い業務の効率化
- ペーパーレスによる文書保存業務の効率化、保管スペースの削減



# 7. CI-NET導入にあたり工夫した点（苦労した点）

## ➤ 社内システムとCI-NETとの調整

- 社内システムとCI-NETの相違点对応設計に時間が必要（定義、桁数、文字 他）
- 社内の運用ルールの再設定（内部統制基準）

## ➤ 各拠点の事務担当者の処理方法の多様化

- 従来の紙ベースとEDI方式の2通りが存在（業務量は、増加と減少の両面）
- 業務フローの明確化（導入前の早い段階より説明協力依頼）
- 注文業務と支払業務の2段階に分けて運用開始（CEC.COMの立会い）

## ➤ 新規に電子商取引へ導入する取引先への対応

- 取引先への新規加入キャンペーンを実施（CEC.COMも協力）

## ➤ 取引先の理解度が重要

- 支払業務のトリガーは取引先が保有（CI-NET運用中の取引先が約60%）
- コンプライアンス（CI-NET）への取組み、具体的内容を段階的に説明
- CI-NETの諸手続きの時間を考慮したスケジュールを設定
- 三井デザインテックの業務に対応した個別説明会の開催（CEC.COMサポート）

# 8. 実施体制

## ◆ CI-NET利用部署: 17ヶ所

- 注文業務：業務推進室（1日1回C I WEB送信実施）
- 出来高・請求・支払業務：各拠点で担当分だけ进行处理

## ◆ 各拠点の事務担当者への説明

- 操作マニュアルを整備  
業務フロー  
社内システムとCIWEBの操作
- トラブル事例  
内容と対応策

## ◆ 導入後の評価

- 事務担当者の声
  - 注文、支払業務は楽になった
  - 全て電子取引にしたい

### CIWEBマニュアル

#### 目次

##### A. 業務フロー

1. フロー(発注・受注)
2. フロー(支払)

##### B. CIWEB ログイン および 主要画面の構成

1. CIWEB関連サイトへのログイン
2. CIWEB関連サイト: 企業ID・発注者担当部署名・検索条件名称等
3. ログイン/後表示画面(見積・注文時)
4. 見積・注文工事一覧画面
5. 見積・注文作業中取扱い一覧画面
6. 検索条件指定画面(見積・注文時) & 主に使用する項目
7. ログイン/後表示画面(出来高・請求時)
8. 出来高・請求作業中取扱い一覧画面
9. 検索条件指定画面(出来高・請求時) & 主に使用する項目

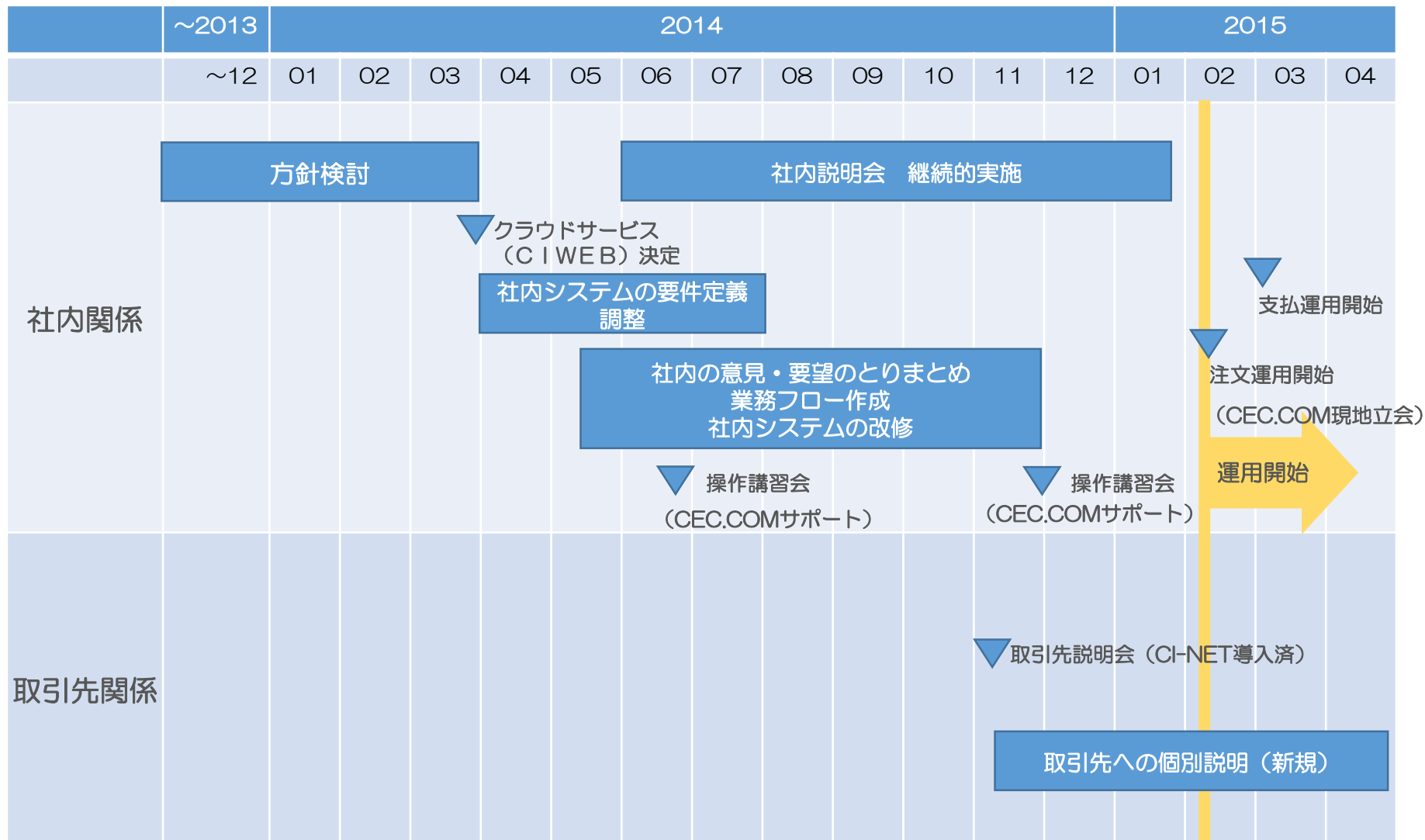
##### C. ゼロロクシステム発注確定データ、CIWEB取込

1. 発注確定データZioファイル出力方法(ゼロロク ⇒ CIWEB)
2. Zio追加着発分)発注確定データZioファイル出力(ゼロロク ⇒ CIWEB)
3. 発注データ(Zioファイル)CIWEB取込(ファイルアップロード)
4. 発注データ(Zioファイル)CIWEB取込 (アップロード内容確認: 完了画面)
5. 発注データ ⇒ 受注者サイトへ送信(対象物件級込検索)
6. 発注データ ⇒ 受注者サイトへ送信(送信実行)
7. 送信実行後の表示
8. 契約内容(契約日)確認
9. 状態印本契約待物件の確認、本発注分の積書を送信促。
10. 発注データ アップロード時 エラー表示例

##### D. CIWEB出来高報告データ、ゼロロクシステム取込へ支払登録

1. CIWEB出来高報告の抽出
2. CIWEB出来高報告印刷(任意)
3. CIWEB出来高報告 CSV出力
4. CIWEB出来高報告 CSV ⇒ ゼロロク取込み
5. CIWEB出来高: 支払一覧表の表示について
6. 支払登録
7. 支払一覧表出力(担当者確認用)
8. 支払解除
9. 支払一覧出力(CIWEB承認登録用)
10. CIWEB出来高: 送信待ちCSV出力
11. CIWEB出来高報告承認登録①
12. CIWEB出来高: 送信待ちCSV出力
13. CIWEB送信待ちCSV ゼロロク査定照会リストへの取り込み
14. 支払一覧表(CIWEB査定照会)出力
15. CIWEB出来高送信
16. 送信後の表示について
17. 発注先からの請求確認

# 9. スケジュール



# 10. 今後について

## ◆ 電子商取引利用率のアップ

### ➤ 現状のCI-NETでの取引先

- 弊社と継続的に毎月取引がある企業
- 既に他社（ゼネコン）との取引でCI-NETに加入している企業

\* 弊社との取引件数の少ない企業への加入促進は困難

### ➤ CI-NETでの取引先拡大に向けてのお願い

- 発注企業の広がりが必要（弊社の対応には限界がある）

取引先は契約件数が多くなれば、CI-NETの利用を検討する

- 手軽に参加（費用、手続き）できる環境の整備のお願い

例) ①電子商取引を利用した場合のインセンティブ

②CI-NET利用手続きの簡略化（電子化等）

③CI-NET利用申し込みから使用までの期間約2ヶ月の短縮

**発注企業様のCI-NET導入を前向きにご検討お願い申し上げます。**